「愛の家」ニュース　NO. 46　2024年　4月

「ご挨拶」

牧師　申　容燮
（在日大韓基督教会館　館長、
元浪速教会「愛の家」副牧師）

「信仰を振り返りみる方法」

在日韓国基督教会館に招かれ、浪速教会から仕える地を移してもう 8 年が経ちました。 浪速教会の着任と同時に生まれた末娘のさらんは、春から小学 6 年生になります。 本当に時間が早く過ぎたと感じます。

浪速教会で副牧師として働いていた時、古い家を修理する仕事をたくさんしました。 その時、様々な作業を学びましたが、今でも自信のある分野は電気工事の分野です。電気の配線を調整してコンセントを設置し、電灯をつけます。 電気配線は、間違って連結すると電灯に明かりがつきません。ですから間違っていることがすぐに分かるので、その時、その場で直せますが、水道配管や下水管は入居して使用している時にトラブルが起きるので再び工事をしなければなりません。けれども、すでに仕上げ工事が終わっていた場合には、費用や時間がはるかに多くかかる事になります。
ですから、水道管の配管工事をする時は連結部位に接着剤をたくさん塗ったり、工事が終わった後も、配管を流れる水の音を聞いたり、入居してからも水漏れがないか何度も確認しました。このような浪速教会での経験が、今仕えている在日韓国基督教会館（築 40 年）でも有効活用されているので、本当に感謝です。

考えてみると、私たちの信仰生活もこのような工事の現場によく似ているように思います。スイッチを入れた時、すぐに問題がある事が分かる電気工事のように、信仰生活になにか問題があったときにすぐに気づくことができれば良いのですが、私たちの信仰生活は少しずつ被害が見えてくる水道工事に似ています。つまり、何か問題があったとしても、すぐにはわからず、段々と水浸しになっていくよう水のトラブルのように、私達の信仰生活は、何かのトラブルでゆっくりと世の中に染まっていき、あれこれ言い訳に怠惰になってしまい、我に返って振り返えると、クリスチャンとしての人生ではなく、ただの一般人と同じように、人生を生きていることに気づくのであります。水道管や下水管の水漏れのように、知らないうちにどんどん被害が大きくなり、もう一度やり直そうとしても、すでに水浸しになってしまった信仰生活を立て直すには、時間がとてもかかってしまうのではないでしょうか。

そうであるのならば、クリスチャンとして、その人生を正しく生きているかを、繰り返し振り返り、確認し、反省することが必要でしょう。 教会で奉仕することは自分の信仰生活を振り返るための大切な作業だと思います。特に浪速教会の奉仕に参加して、自分の姿を振り返ってみるのは、いい方法だと私は思います。 みなさん、今週はぜひ、浪速教会のボランティアに参加して、私たちの信仰生活を振り返ってみようではありませんか！

「ご挨拶」

牧師　金　鐘賢
（浪速教会「愛の家」担任牧師）

「最も小さき者一人したことは わたしにしたことである」

コロナ禍の４年が過ぎ２０２３年７月よりやっと私達「愛の家」の伝道集会を再開することが出来ました。コロナ禍の中、浪速教会「愛の家」の働きが主の御手によって守られた事、神様に感謝し栄光を捧げます。その間、皆様の様々なご支援にも心よりお礼申し上げます。コロナ禍の中、私達は毎週木曜日にはお弁当、金曜日にはおにぎりとカップ麺（後にみそ汁に変更）を配り炊き出しを行い、食べ物に困っている方々と共に生きてきました。木曜炊き出しには多い時は 270 人も参加し私達の力でどうやって担って来たか不思議でたまらないです。貧しい一人ひとりにした事はイエス様にした事だと思い、心を込めて働き、一人も手ぶらで帰る事がない様に仕える事を基本精神として働きました。神様の恵みと御力を受けコロナ禍の中でも炊き出しを続ける事が出来ました。人手不足で困った時には、京都から大阪からボランティアが来て手伝ってくれて守られ神の御手の業に驚きました。

現在私達「愛の家」は木曜伝道集会と金曜炊き出しを毎週行っています。それと私達はアルコール依存症、ギャンブル依存症、薬物依存症、精神障害を抱えている人たちと共に生き、共に支え回復の為に話し合い、奉仕活動、聖書勉強会を行っています。刑務所から出所した人と共に生き、今現在投獄されている人に面会し話し合い支援する活動を続けてきました。自分でお金の管理が出来ない人のための生活支援活動、認知症の人、精神障害者支援のため毎日教会をオープンして相談を受け、話し合い、時には共に遊んだりして支えています。アルコール依存症の人、薬物依存症の人で悩まされ思わぬ苦労もありますが、神様に祈り活動を続けています。

私達の活動精神は「小さき者にした事はイエス様にした事である。」「神様が私達に送って結び付けて下さった人は最後まで見捨てない。」ことです。これからも皆様のお祈りとご支援のを宜しくお願い致します。

「愛の家」の風景

www.ainoie.org

宣教チーム

チームを神戸へ案内しました。

去る１月１８日～２１日まで、韓国ソウルの三一（サミル）教会から五人の宣教訪問がありました。その中の二人は５年前、浪速教会の短期宣教師として１年間奉仕をした夫婦です。その夫婦は自分たちが現在所属している三一教会の信徒三人をつれて訪問しました。今回の宣教チームは何もかも自ら率先して行動してくれるので、私達の説明や案内が必要ありませんでした。浪速教会での奉仕の経験がある夫婦がリーダーとなって導いたからです。今までの宣教チームの中では一番自立心が強くてとても助かったと思います。お年寄りが多い浪速教会に若い宣教チームの訪問はとても力になるし、活気を与えるので嬉しい限りです。

三一教会チーム

ﾒﾉﾅｲﾄﾌﾞﾚｻﾞﾚﾝ教団の青少年チームも来てくれました。

木曜・伝道集会

去年の７月から再開された木曜伝道集会が９か月間続けられ、守られたことを神様に感謝します。去年はコロナウィルス感染予防のため、マスク着用と手の消毒が必需でしたが、最近はマスク着用は個人の判断に任せて自由になりました。ウィルス感染の不安から解放されたからです。うれしい限りです。毎週木曜日に来られる人数は平均５０人ぐらいです。生活保護を受けている方々と野宿を余儀なくされている方々が来られます。私達浪速教会の信徒は木曜日になるとそれぞれの役割があるのでわくわくしながらイエス様をおもてなしする準備をします。賛美の導き、礼拝の準備、整理券配り、交通安全係、食事の準備、食器洗い、掃除などたくさんの人出が必要です。こられた方々は賛美と御言葉と祈りで霊の糧をいただき、食事を通して肉の糧もいただき、霊肉共に満腹になって幸せな笑顔になります。彼らの笑顔にイエス様の微笑みがクローズアップされて私達奉仕者も幸せになります。このような働きが続けられるのもお祈りご支援金を通して支えて下さる支援者の皆様がおられるからです。皆様に神様の祝福と報いが豊かにありますように。

当重茜さんの賛美復活！

安くて美味しいお米を境から運んでくださるお米屋さん

金曜・おにぎりとおみそ汁配り

木曜日には伝道集会と昼の定食のおもてなしがあるのでとても準備が大変です。しかし金曜日の炊き出しは誰でも気軽に来られるように西成公園でおにぎりとおみそ汁を配ります。配る食事は木曜日より簡単なメニューですが、来られる人数は多くて平均１２０人ぐらいです。やはり教会堂に入らなくてもいいし、礼拝にも参加しなくていいので気が楽だからだと思います。金曜日の早朝からご飯を炊き、そのご飯の中にごま塩を入れて混ぜておくと朝９時に信徒たち約６～８人が集まりおにぎりを作り始めます。のりを入れる「のり担当大臣」をはじめ、ラップを敷く「ラップ担当大臣」もいて、とても楽しく和気あいあいとした雰囲気で作ります。おにぎり１個は 380ｇで、男性一人の一食になる重さです。冬の間、公園は寒かったので最も人気があったのは温かいおみそ汁でした。帰る時にはフードバンクからいただいたパンとバナナ、チョコレート等をお土産に渡す時もあるので、皆がとても喜びます。また年に４回くらいは全国の教会や個人から送っていただいた古着や生活用品を配ります。イエス・キリストの愛があふれる金曜炊き出しが続けられるように、更なるお祈りと支援をよろしくお願いします。

炊き出しにならぶ行列と衣類

奉仕者の声

『 人生を通して現わされる神様の御手 』

下田　晶（ケンジ）兄弟
（浪速教会「愛の家」ボランティア）

僕はブラジル人で、父親は日系ブラジル人、母親はスペイン系ブラジル人です。当時は外国人と結婚する人は誰もいなかったので、当然僕の両親も結婚を反対されて駆け落ちしました。父は小さな町で運転をしながら生計を立て、何とか食べていけるだけの収入を得て家族８人で暮らしていました。僕の兄弟は６人で、姉、兄、僕、弟１、弟２、妹です。弟１は交通事故で天国にもう行ってしまいました。弟２はブラジルでカトリック教会の神父をしています。神父だけでは生計を立てるのが難しいので鍼の仕事もしています。妹は障がい者で、同じく障がい者の男性と結婚をして子供を授かり子育てをしていました。その娘も今はもう１８歳になります。娘夫婦だけではなかなか難しい所もあるので、神父をしている兄が妹家族のお世話もしてくれています。

僕が大学生の頃、父と兄が日本の山梨で仕事をしていました。僕も日本に憧れて１年間だけ大学を休学して日本で働きながら住みたいと思い来日しましたが、今の今まで日本にいます。兄が山梨県の工場で派遣の仕事をしていました。僕も仕事を紹介してもらい働きました。でも工場での仕事は僕には合いませんでした。なぜかというと、工場では人は機械とだけ話をします。僕は日本に来たばかりで日本語を習いたかったのですが、工場の人は何十年も機会と向き合っていたせいか気がおかしいな人ばかりでとても怖かったです。

日本に来たばかりの時、日本語を全く話せませんでした。それでも買い物に市場へ行き、身振り手振りで意思を伝えると、お店の人はジェスチャーがとっても上手でした。それでなんであんなにジェスチャーが上手かなぁと思って観察していると、実は耳が聞こえないので手で会話する「手話」でした（笑）それで、僕は日本語を覚えるよりも手話のほうが簡単じゃないかと思い、区役所の手話セミナーに通い始めました。今では手話を使わなくなってしまい、すっかり忘れてしまいましたが、その手話が後に役に立ちました。

数年後のある日、新聞の広告欄に「大阪で見習いマッサージ師募集」の記事を見つけて教えてくれた人がいました。それでマッサージ（按摩）ができるようになると、ブラジルに帰った時に鍼をしている弟を手伝うことができるのではないかと思い、さっそく大阪へ向かいました。その会社はとても親切で良い会社でした。日本語が分からない僕でも、手話ができるということで何とか意思疎通ができるという事でマッサージを教えてくれて、その会社で３年間働くと授業料等は無料になりました。でも、僕はその会社が倒産するまでの２０年間ずっと働かせてもらいました。その後は仲間が誘ってくれて、色々な施設でマッサージの仕事をさせてもらいました。

僕の仲間の多くはブラジル人でクリスチャンです。その仲間が帰国する時に荷物を持って帰れないので、布団や衣類、鞄などを仲間に渡して帰ります。それがどんどん集まってきてどうしようとなった時に、「ふるさとの家」に持って行く事にしました。時には半額のパン等の食べ物や飲み物も買い足していく時もあります。何回か荷物を運んでいると、いつも気になる人がいました。近くのコンビニの前で何人かでお酒を飲んでいる若い男性２人でした。近くを通りかかる人みんなに「〇〇さん、こんにちは！」「△△さん、元気？」と声をかけますが、その人たちはみんなその若い男性を侮辱して通り過ぎていくのです。とても可哀そうに思い、時々声をかけるようになりました。その若い男性２人を通して浪速教会を知ることになり、金先生にその人たちの拘置所面会等を手伝っていただくことになり、金曜日の炊き出しもお手伝いするようになりました。僕はブラジルや日本の色んな教会を見てきましたが、金牧師夫婦ほど寄り添って、親身になってくれている所は見たことがありません。一番驚いたのは、１か月の生活費を１～３日で使い果たしてしまう人たちのために、生活費を預かり（同意の上で）毎日千円ずつ渡していくのです。そんな面倒なことを親以外の誰がしますか？この事を知った時に本当に素晴らしいと感動しました。一難去ってまた一難、今も大きな問題に直面していますが、決して逃げずに祈りながら兄弟たちに寄り添っている浪速教会をどうか応援お願いいたします。

特集　「愛の家」の恩人⑮

故　朴　多美　師母任（サモニン）

（在日大韓基督教会　豊中第一復興教会）

故朴多美（田中タミ）師母任(牧師夫人)は豊中第一復興教会故朴昌煥牧師任の夫人として、ご主人の朴昌煥牧師と共に 46 年間牧会をし、福音伝道の道を歩まれました。朴多美師母は 2006 年 4 月 26 日朴昌煥牧師が亡くなられてから、後を継いで豊中第一復興教会の牧師になられた三女の朴栄子牧師任を影で 18 年間支え、死に至るまで一生伝道者として主の教会に仕える信仰者として信仰の道を走り通しました。私が朴昌煥牧師と朴多美師母と知り合ったのは、1997 年 5 月在日大韓基督教会関西地方会に加入してからでした。朴牧師ご夫妻は私達浪速教会の開拓初期から今日に至るまで私を助け励まし支えて下さいました。朴昌煥牧師は 2000 年5月から２００５年末ご病気で活動が出来なくなるまで、毎月一回私達浪速教会「愛の家」伝道集会に来られ説教の奉仕をして下さいました。朴多美師母は運転して朴牧師といつも一緒に来られ、代表祈祷や食事の奉仕をして私達の伝道活動を支え祈り応援して下さいました。朴昌煥牧師が召天されてから私と家内は朴栄子牧師にお父さんの後を継いで毎月一回来られ木曜伝道集会のメッセージの奉仕をして下さる様にお願いしました。最初は自身がなかったと思いますが承諾して下さいました。朴栄子牧師が説教奉仕に来る時はお母さんである朴多美師母もご一緒に来られて私達の伝道集会を支えて下さり私達浪速教会にとっては霊的母として励まし力尽けて下さいました。

朴多美師母は 1972 年日本国籍を離脱し韓国籍に帰化しました。当時在日韓国人は健康保険、国民年金、生活保護を受けることが出来ず病気になっても病院に行けない状況でありました。朴師母は自分だけが日本人として社会保障を受けるのが韓国の信徒に申し訳なくて自分も在日韓国人信徒と同じくなり苦しみを分かち合うため帰化して韓国人なりました。

朴昌煥牧師と朴多美師母は日本宣教のため趙ヨンギ牧師の集会や放送伝道のため、通訳や翻訳の奉仕にも熱心に協力しました。それはイエス様を信じない多くの日本の魂を自分の様に愛し日本の兄弟姉妹達が救われためなら自分の体心を尽くして少しでも力になることが出来ればと思っていたと思います。

朴昌煥牧師と朴多美師母は私と家内、浪速教会の信徒達をとても愛し大切にして下さり、自分の教会も弱くて厳しい中でも目いっぱい支援して下さいました。それは私達が野宿生活者や西成の貧しい人々に仕えるから私達を自分の家族の様に愛して下さったと思います。

朴多美師母任は亡くなられる前１０年間認知症でご苦労されましたが健康と力が許されるまで「愛の家」にきてくださり代表祈禱をして下さいました。

朴多美師母任は天に召されるまで２４年間私達を愛し支えて来られた恩人でありお母さんでした。朴多美師母任！長い間、ありがとうございました。

「愛の家」会計決算報告書(2023.1.1-12.31)

収入	23 予算	2023.1-12
定期後援会	600,000	1,103,000
一般後援会	1,900,000	1,800,828
クリスマス献金	1,500,000	1,357,073
食事献金	0	15,000
総会支援金	200,000	200,000
地方会支援金	420,000	420,000
御米献金	100,000	85,000
小計	**4,720,000**	**4,980,901**
繰越金	**2,132,929**	2,132,929
合計	**6,852,929**	**7,113,830**

支出	23 予算	2023.1-12
事務･備品･印刷費	250,000	181,865
発送費	100,000	85,952
交通費	10,000	16,985
車両維持費	100,000	189,278
奉仕者支援金	200,000	74,000
研修費	100,000	3,282
御米代	500,000	352,000
副食費	1,800,000	1,422,706
建築積立金	1000,000	2,500,000
救済費	50,000	50,382
修理施設費･予備費	2,642,929	18,700
小計	**6,852,929**	**4,895,150**
繰越金	-	**2,218,680**
合計	**6,852,929**	**7,113,830**

「愛の家」会計中間報告書(2024.1.1-2.28)

収入	24 予算	2024.1-2
定期後援会	1,100,000	333,000
一般後援会	2,000,000	187,040
クリスマス献金	1,200,000	128,000
食事献金	0	0
総会支援金	200,000	200,000
地方会支援金	420,000	70,000
御米献金	100,000	67,000
小計	**5,020,000**	**985,040**
繰越金	**2,218,680**	**2,218,680**
合計	**7,238,680**	**3,203,720**

支出	24 予算	2024.1-2
事務･備品･印刷費	250,000	4,068
発送費	100,000	120
交通費	50,000	2,800
車両維持費	200,000	28,932
奉仕者支援金	500,000	38,349
研修費	200,000	0
副食費,御米代	2,300,000	185,687
建築積立金	1,800,000	1,300,000
救済費	500,000	145,000
修理施設費･予備費	1,338,680	0
小計	**7,238,680**	**1,704,956**
繰越金		**1,498,764**
合計	**7,238,680**	**3,203,720**

路上生活者支援のための

献金のお願い

春の訪れも、もう間もなく・・・と感じる季節、そしてなによりも、イエス様の御受難と復活を心に留める季節となりました。支援者の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素より私ども、浪速教会「愛の家」の活動へのご理解、ご協力を賜り、まことに感謝申し上げます。また、クリスマス献金には、たくさんの方々が祈りと愛をもってお応えくださいました。心より感謝申し上げます。皆さまがお献げくださったクリスマス献金は、路上生活者、失業者の支援のために用いさせていただきます。

昨年７月より再開いたしました木曜伝道集会、コロナ以前よりは人数が減りましたが、顔ぶれもガラリと変わり、見慣れない顔が増えてきました。以前の常連さんたちはいずこへ・・・？と思う反面、新しい仲間たちと共に再スタートを切った伝道集会は少し新鮮な気持ちを感じています。また、週ごとに担当してくださる其々の説教奉仕の牧師先生方も「待ってました！」と言わんばかりの勢いをもってメッセージを取り次いでくださいます。コロナ禍で不安や恐れ、孤独の中で生活を余儀なくされ、生活の基盤である職や居場所を失った方々も大勢いらっしゃいます。その方々が「愛の家」の炊き出しに参加して心に神様の光が灯され、もう一度希望を持って歩まれることを切に願います。

現在、私ども「愛の家」は炊き出しを一週間に２回行っております。金曜炊き出しには毎回約110人～200人、木曜集会にも常時５０人近くの路上生活者や失業者の方々が温かい食事を求めて並ばれます。炊き出しの実際の経費として、毎週５７,000円を支出しております。（お米50kg・12,000円、副食費45,000円、合計57,000円）

「愛の家」事業：木曜・金曜炊き出し（木曜集会＆日曜礼拝と食事提供、夜間パトロールは現在休止中）、散髪奉仕、共同生活、聖書勉強会、福祉相談、福祉館運営、生活用品収集分配

２０２４年度　献金目標額：100万円

✧　定期、一般後援者募集

一般後援：1000円以上、　定期後援：毎月1000円以上

衣類、生活用品、靴、靴下、寝袋、下着、鞄、タオル、カイロ、食材、お米を送って下さい（古着のスーツ類の需要は少ないです）

献金振込先（ゆうちょ銀行）

郵便振替：00930-0-299392　口座名：在日大韓基督教会浪速教会

送り先：〒557-0061　大阪市西成区北津守3-2-3浪速教会「愛の家」
Tel　06-6561-4712、6562-0109、　Fax　6561-4709
E-mail:ainoie@msn.com　　ホームページ：www.ainoie.org

２０２４年４月

在日大韓基督教会　浪速教会「愛の家」
牧師　　金　鐘　賢

献金者お名前（敬称略・順不同）
（2023年11月1日～2024年2月29日）

定期後援金
グッド・サマリタン・チャーチ　大阪淡路チャペル・グッド・サマリタン・チャーチ洲本チャペル、大阪東南キリスト教会、在日大韓基督教会総会、在日大韓基督教会関西地方会、豊中第一復興教会、石井洋二、朴栄子、ユ・サンジュン、当重茜、金栄吉・李香蘭、金鐘賢・姜貞淑、大木正典、金英姫・森元孝、市川和俊、平野竜一・真希、匿名

一般後援金
大阪北部教会女性会、大阪姫松教会、池田教会、京都教会女性会、関西女性会社会部、豊橋教会、鈴木崇、井上久夫、姫田光之、重松絢子、匿名

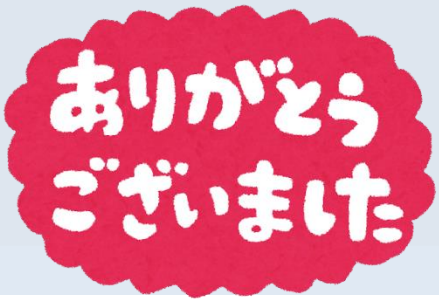
クリスマス献金
大阪東南キリスト教会、大垣荒尾教会、大阪教会女性会、大垣教会、西部女性連合会、荻窪北教会、西新井教会、宇都宮松原教会、福岡城南教会、西宮中央教会、大垣教会、武庫川教会、名東教会、横須賀教会、滝川教会、旭川教会、横浜海岸教会、神戸教会、都島教会、南浦和教会、広島教会女性会、吉田教会教会と社会委員会、大阪西成教会、福岡中央教会、神戸東部教会、平野教会、京都教会、草加教会、博多教会、折尾教会、日土教会、小倉教会、京都南部教会、船尾幼稚園、JCM藤田桂子、株式会社重松貿易、
山本覚、寺岡洋子、キム・ヨンソ、朴栄子、岩坂二規、森明子、清水眞一・佐代子、佐藤栄一、宮澤玲子、梁漢順、崔英淑、金森俊徳、ユ・サンジュン、李順姫、金龍玉、李恩順、

お米、お米献金
洲本チャペル、京都教会女性会、つくば東京教会、ぐるり農園、宮澤玲子、岩坂二規、松尾保司、梁漢順、神野幸子、尹豊子、
匿名

食材
フードバンク大阪、
フードバンク関西,
ぐるり農園、清水眞一・佐代子

アルミ缶献金
「愛の家」に通う兄弟たち、北津守町の皆さん

衣類、靴、鞄、生活用品、ふとん類、マスク
グッド・サマリタン・チャーチ、女子ご受難会、松井明美



「愛の家」の人々

『奉仕者の声』に協力してくださった下田晶（しもだあきら）さん、通称ケンジさんについて追記します。ケンジさんは来日して大阪に来て以来、マッサージ師として長年働いてこられましたが、糖尿病を切っ掛けとして色々な病気を併発され、現在は休業されています。病院に通いリハビリを受けながら、空いた時間で色々な所でお手伝いをしてくださっているようです。衣類や食べ物を運んだり配ったり、病院や拘置所へ面会に行ったり、掃除のお手伝いも。掃除といっても、引っ越しやリフォームの後の掃除もあれば、西成の仲間たちが住んでいる部屋で、物がいっぱい（虫や臭いもすごい）で足の踏み場も寝る場所もないという部屋を掃除したこともあるそうです。ある兄弟はお酒で酔っ払って、他の人が捨てているゴミをもって帰ってきて家に山積みにしている、そのような部屋もあったそうです。また、ある人は物はいっぱいだけれど捨てないで、触らないで！という人もいるそうです。時にはその人たちから失跡や侮辱される事もありますが、決して怒り返すことなく、謙遜になって寄り添っていらっしゃるとても心の優しい方です。もうすぐ還暦を迎えようとしているケンジさんですが、病気を克服してマッサージの仕事に復帰したい！その強い思いがあります。どうかケンジさんの活動や健康のためにもお祈りをお願いいたします。

発行責任者　金鐘賢
〒557-0061 大阪市西成区北津守 3-2-3
浪速教会「愛の家」内
TEL 06-6561-4712(教会)
E-mail: ainoie@msn.com
ホームページ: www.ainoie.org
献金振込先 （ゆうちょ銀行）
金融機関コード：9900
店番：99
預金種目：当座
店名：〇九九店（ゼロキユウキユウ店）
口座番号：299392
口座名：在日大韓基督教会浪速教会